

(様式4)
令和元年11月19日

令和元年度 第2回 大阪市立堀江中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立堀江中学校

校園長名 山本 裕康

日 時	令和元年11月14日（木）18時30分～20時00分（1時間30分）		
場 所	大阪市立堀江中学校 1階 会議室		
出席者	委員など	長岡 繢（会長） 川村美代子（委員） 末友 良紀（委員） 宮地 秀和（委員） 岸田 匡史（委員）	
	校園	山本 裕康（校長） 寺田 元幸（副校長） 階戸 祥子（教頭）	
	区役所	大島 一晃（課長代理）	
議題	<p>(1) 令和元年度「運営に関する計画」（進捗状況）について (2) 令和元年度「全国学力・学習状況調査」等の結果について (3) その他</p>		
協議要旨	協議の結果		意見の概要
	(1)	○「運営に関する計画」の取組内容に対する進捗状況と今後の取組について、概ね理解を得た。	○「運営に関する計画」の2つの柱の達成に向け、様々な場面で学校としてよく努力していただいている。 ○学力向上の取組としての「文章検定でコミュニケーション力の育成」「eライブラリーで家庭学習の改革」でますます充実・進化されることを期待しています。 ○ただ、朝ごはんを食べてこない生徒が2割近くいることが心配である。その要因となるものを払拭することが必要だ。
	(2)	○「全国学力・学習状況調査結果」を基に分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について、概ね理解を得た。	○今年度も結果は振わなかったが、夏休み以降のテスト結果については上昇傾向になっている。 ○各小学校からの進学状況では、上位60名ぐらいが抜けての入学となっているが、中レベルからの下の生徒の得点力を先生方の力でよく引き上げもらっている。 ○しかし、生徒質問紙からは、全体的に全国・大阪市よりも低いため、学習面とともに生活面においても質問内容の事項に重点をおいて指導をお願いしたい。
	(3)	○堀江中学校の未来について情報を共有した。	○西高校への移転までの期間、現在の狭い環境でストレスを感じながら生活しなければならない生徒のことを第1に考えていかなければならない。 ○整備に関して、ハード面は行政（区役所・市教委）との連携し、ソフト面は学校で進めいかなければならない。
協議資料	<p>○令和元年度「運営の関する計画」（進捗状況） ○令和元年度「全国学力・学習状況調査」結果について ○令和元年度「中学生チャレンジテスト（3年生）」結果について</p>		
備考	傍聴者[0]名		

